

## はじめに

花きについては、近年、多くの品目で国内生産量が減少傾向にある一方で、外国からの輸入が増加傾向にある等、花きの供給をめぐる情勢が大きく変化しています。このような中で、国産需要を確保していくためには、消費段階における花きの利用実態を把握し、需要に応じた効率的な生産・販売へと繋げる必要があります。

本調査では、葬儀用花きの生産者に対し、花きの生産・出荷状況、葬祭業者に対し、花を用いた祭壇（花祭壇）の最近の傾向や祭壇に用いる花きの種類等について、それぞれ実態調査を行いました。

その結果、花祭壇については、花の長さや大きさ等は地域による違いがあるものの、共通していることは、カーネーションやトルコギキョウといった洋花の使用が増加傾向にあること、これまで祭壇の花としてはタブーとされてきた赤やピンクなどの明るい色も使われるようになったこと、花祭壇の自由度が高くなってきているということ、生産者についても、こういった需要に応えるため、葬祭業者や市場を通して、情報の収集を行い、栽培品種や栽培方法を変えながら対応していることがわかりました。

本事例集を参考にさせていただき、業務用花きについて、需要に合わせた生産・販売へと繋げることによって、業務用花きにおける国産花きの使用比率を高めていくことを期待しております。

農林水産省 生産局 園芸作物課  
花き産業・施設園芸振興室